

「新成長戦略(基本方針)」(平成21年12月30日 閣議決定：別紙参照)において掲げられたグリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションの推進を目的として、新たな科学・技術を創造する基礎研究から出口を見据えた研究開発まで、人文・社会科学的側面からの取組を含め、政策的・社会的な課題の解決に貢献する挑戦的な以下のアプローチを支援する。

- 新たな科学的・技術的知見の「発掘」
- 多様な分野の科学的・技術的知見の「統合」によるブレークスルー技術の創出
- 革新的技術の戦略的な推進
- 研究開発成果の実利用・普及のための社会システムの転換 等

科学・技術によるグリーン・イノベーションの推進

本プログラムでのグリーン・イノベーションには、地球温暖化を克服し、持続的発展が可能な社会の実現を目指した、幅広い多様な科学・技術革新及び社会革新が含まれる。環境・資源・エネルギー・食料等の分野にこだわることなく、斬新な発想で以下の例示のような課題解決に挑戦することが期待される。

【例示】

- ・地球環境の観測・評価・予測の高度化
- ・再生可能エネルギーへの転換
- ・エネルギーの高効率化、エネルギーシステムのスマート化
- ・資源の省力化・代替化・確保
- ・食料生産の革新
- ・情報通信技術の活用による環境先進化
- ・生物多様性・生態系の保全
- ・国際連携による環境・エネルギー革新
- ・社会システムの設計による環境先進化 等

科学・技術によるライフ・イノベーションの推進

本プログラムでのライフ・イノベーションでは、生命機能や疾患原因の解明等の基礎研究から出口を見据えた研究開発まで、健康社会の実現を目的とした先端的な研究開発を幅広く推進する。医療・介護等の分野にこだわることなく、斬新な発想で重要な課題解決に挑戦することが期待される。

【例示】

- ・生命機能の解明
- ・生命進化の仕組みの解明
- ・疾患原因の解明
- ・革新的な医薬品・医療機器の原理・検証・実証
- ・高齢者・障害者の支援に資する介護技術の革新
- ・早期診断機器・方法の原理・検証・実証
- ・革新的な予防医学研究システムの構築
- ・情報通信技術の活用等による医療システムの変革
- ・革新的生命科学技術の社会受容性の推進 等

環境・エネルギー



【2020年までの目標】

- 新規市場50兆円超、新規雇用140万人
- 日本の技術で世界の排出13億トン削減

【主な施策】

- 固定価格買取制度拡充等による再生可能エネルギー拡大支援
- 住宅・オフィス等のゼロエミッション化
- 革新的技術開発の前倒し
- エコ社会形成に向けた集中投資事業

健康（医療・介護）



【2020年までの目標】

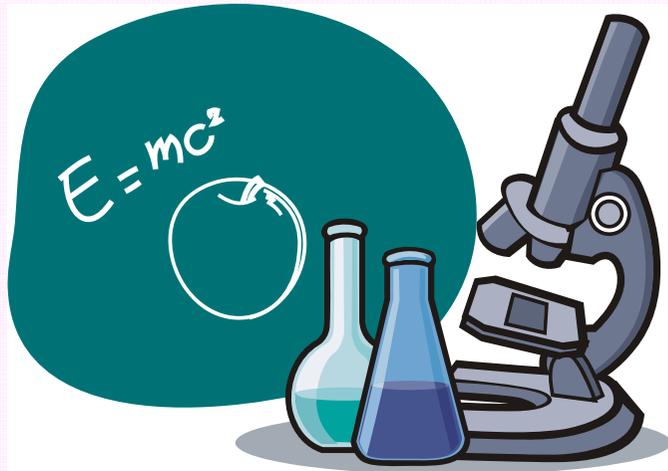
- 需要に見合った産業育成と雇用の創出
- 新規市場約45兆円、新規雇用約280万人

【主な施策】

- 医療・介護・健康関連産業の成長産業化（民間事業者等の参入促進など）
- 革新的な医療技術、医薬品、機器の研究開発・実用化推進
- アジア等海外市場への展開促進
- バリアフリー住宅の供給促進

成長を支えるプラットフォーム

科学・技術



【2020年までの目標】

- 官民の研究開発投資GDP比4%以上
- 理工系博士課程修了者の完全雇用
- 情報通信技術による国民の利便性向上

【主な施策】

- 大学・研究機関改革の加速
- イノベーション創出のための制度・規制改革
- 行政ワンストップ化

雇用・人材



【2020年までの目標】

- フリーター約半減、女性M字カーブ解消
- 待機児童問題を解消(就学前・就学期)
- 出産後、希望者全てが就業復帰

【主な施策】

- 「トランポリン型」セーフティネットの整備
- 幼保一体化、多様な事業者の参入促進
- 育児休業の取得期間・方法の弾力化
(育児期の短時間勤務の活用等)